

2. 商店街等実態調査

商店街・小売市場等アンケート調査結果

《その2 地域との関係性 (V)》

【地域での連携】

- ・「隣接する商店街・小売市場」との共同事業 (33%)、「同一市内・区内の複数の商店街等」との共同事業 (21%) が主。土地店舗所有者との連携は4%。
- ・対話や人的交流の相手は「地域の自治会・町内会」(31%)、「隣接する商店街・小売市場」(22%)、「同一市内・区内の複数の商店街等」(19%) が上位。
- ・行政機関、小中学校・高校、婦人会、老人会等との対話や人的交流もあり。

【地域活動への取り組み】

- ・「伝統的お祭りへの参加・支援」(56%)、「地域イベント」(45%)、「防災・防犯」(44%)、「清掃」(34%) が上位。

《その3 今後の活性化 (VI)》

【組織運営にあたっての課題】

- ・「組合員・会員の高齢化と後継者難」(59%)、「組合員・会員の意欲低下」(59%) が非常に多い。「企画力不足」(20%) も課題。

【今後の活性化の方向性】

- ・「地域密着の重視」(48%) がこれからの活性化のキーワードとしてトップ。
- ・「集客力向上・賑わい創出」(37%)、「魅力ある個店づくりの促進」(34%) も、今後の活性化のキーワードと考えられている。

【行政への要望】

- ・「大型店出店規制」(32%)、「企画力強化への支援」(25%)、「まちづくりにおける行政としてのリーダーシップ発揮」(20%)、「空き店舗対策」(19%) が、行政への要望上位。